



を活用した住民意識調査データに基づく行政課題の構造に関する計量的抽出法の検討

兵庫県立大学 応用情報科学研究科 繆青・有馬昌宏・川向肇

研究背景：

市町村合併が進んで行政区域が拡大する中、住民同士や行政と住民の間での問題意識や情報の共有が新たな課題に。

● ● ● ●▶ 行政区域内での地域差を考慮に入れつつ、住民意識の把握のためのアンケート調査を効果的に活用したい！

研究目的：

住民意識調査の単なる単純集計から脱皮し、行政区域内の地域構造や地域特性を考慮に入れた行政課題を抽出したい！

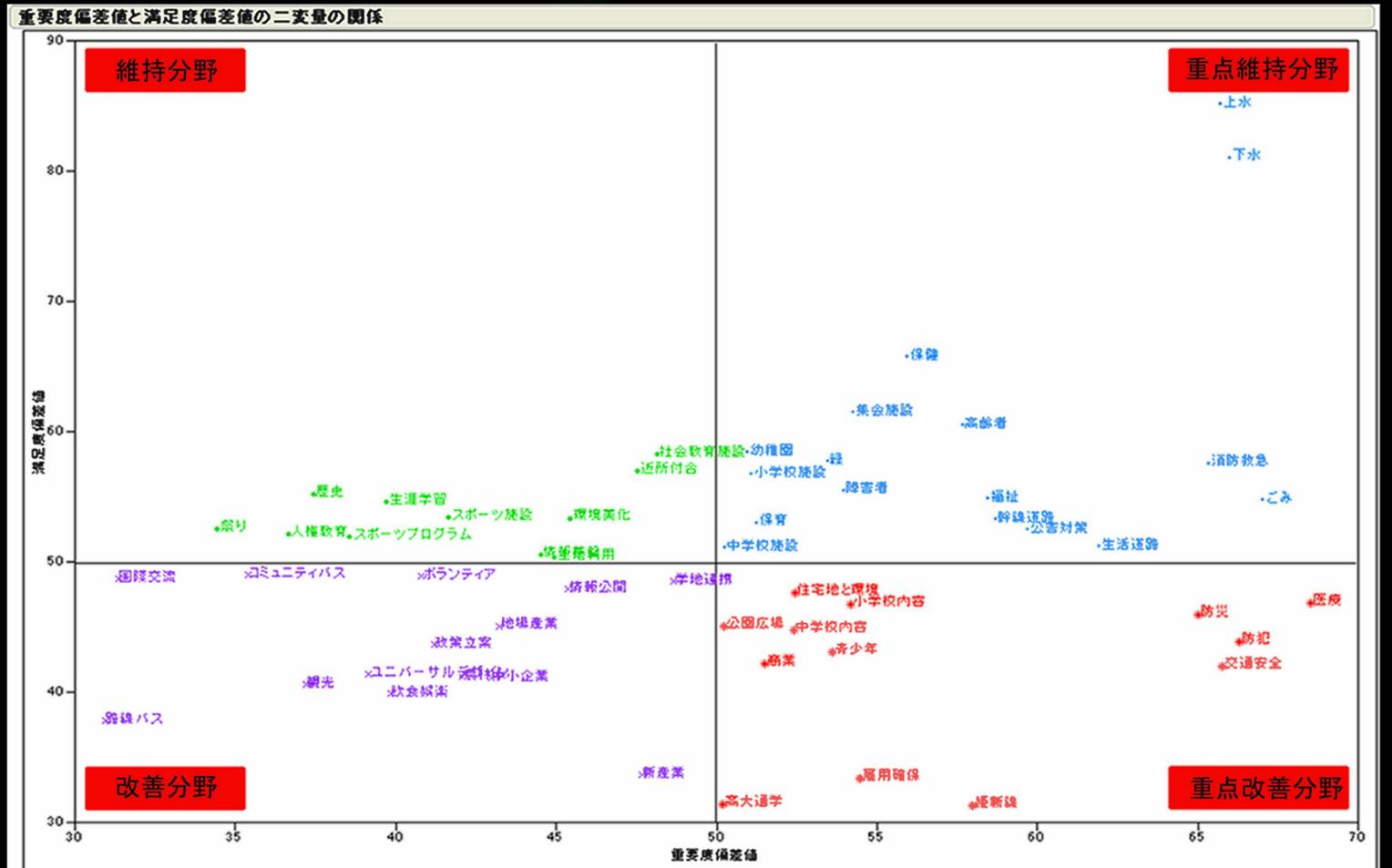
● ● ● ●▶ JMPの高度な統計処理機能とグラフ化機能の活用による行政課題の抽出と結果の分かり易い表示の検討

調査の概要

調査時期 2004年12月～2005年1月
調査場所 兵庫県揖保郡新宮町（16,948人、5,224世帯）
調査方法 自治会経由で4,810世帯に配布し、郵送で回収
回収率 1,105票の回収で有効回収率は22.97%

以下の55の評価項目に対する満足度と重要度（5段階評価）

- 社会基盤 路線バス・コミュニティバス・姫新線・上水・下水・幹線道路・生活道路・住宅地と環境・土地利用・情報基盤・ユニバーサルデザイン
- 生活環境 交通安全・公害対策・防災・防犯・消防救急・公園広場・緑・ごみ・集会施設
- 健康福祉 保育・保健・高齢者福祉サービス・障害者福祉・医療・福祉施設
- 教育文化 幼稚園・小学校施設・小学校内容・中学校施設・中学校内容・学地連携・高大通学・青少年育成・社会教育施設・生涯学習・スポーツ施設・スポーツプログラム 歴史・祭り
- 産業振興 農林水・地場産業・中小企業・新産業・雇用確保・商業・飲食娯楽・観光
- 住民参加 近所付合・環境美化・人権教育・情報公開・政策立案・国際交流・ボランティア



行政課題を抽出するためのCSポートフォリオ図